

■設置上の注意

真っ黒もしくは真っ白な壁にすると被写体の映像が白とびしたり暗くなったりする場合があります。(※4)

直接照明または間接照明で被写体を照らす。100ルクス以上

太陽光線

ブラインド

ブラインドを用いるなどガラス窓から強い逆光が入らない工夫をする

植栽を置くことで画面の色合いが引き立つ

※4

ご注意

- 逆マスターキースイッチや非接触キーリーダーを取り付ける場合は、それぞれの防水性能に注意して設置すること。
- 斜台に取り付ける場合は取付角度を45°以上を確保すること。ただし、雨や水のかかる場所では斜台取付しないこと。
- 強い紫外線を含む太陽光線や明るい照明などが当たらない位置に設置すること。光の反射によりモニターが見えにくくなる場合がある。
- モニターに使用している液晶が紫外線により劣化し、寿命が短くなる場合がある。
- 照明器具にダウンライトを使用する場合は、ユニバーサルダウンライトのような自由に照射方向を変えられる機能のあるものを推奨する。
- カメラに強い光(直接照明や太陽光線など)が入らないようにすること。光の映りこみが発生する場合がある。(※1)
- 被写体を間接照明または直接照明し、被写体への照度を100ルクス以上確保することを推奨する。
- 集合玄関機と被写体の間(約500mm以内)に設置したダウンライトで直接照明を行う場合は、背景の明るさとの対比で明るすぎると、映像に白とびや光の映りこみが発生する場合があるので、明るすぎないよう光源の強さを調整してください。(※2)
- 斜台取付の場合は、照明の光が直接カメラに入らないよう、照明の設置位置に注意すること。(※3)

照明の種類や設置状況によっては映像に下記のような現象が起こる場合がある。
・照明器具に蛍光灯やLED照明を使用する場合、映像に黒い縞が出たりチラツいたり色が周期的に変化(カラーローリング)する場合がある。インバータ蛍光灯やチラツキの少ないLED照明を使用してください。

■映る範囲と取付位置

VIX-DLMA-LCD(-2KY)

上下 カメラ角度0°の場合 カメラ角度18°の場合 カメラ角度-21°の場合

斜台取付について

取付角度60°の場合(カメラ角度0°) 取付角度45°の場合(カメラ角度-21°)

ご注意

- 取付角度によりカメラ角度を調整する。(−21°,0°,+18°)
- 取付角度は45°以下にしないこと。
- 水がかかる場所への斜め取付はしないこと。(水が抜けず、故障の原因となる)
- カメラに直接照明などの光が入らないようにすること。

(住宅情報盤のモニター画面が明るくチラツいたり、被写体が暗くなることもある)

VIX-DLMU

●ワイド時 ●ズーム時

●斜台取付について

- ・推奨ズーム位置
ズーム中央
(取付角度60°)
- ・推奨ズーム位置
ズーム中央より6ステップ下向き
(取付角度45°)
- ・ズーム中央より6ステップ下向き
(取付角度60°)

ご注意

- 取付角度は45°以下にしないこと。
- 水がかかる場所への斜め取付はしないこと。(水が抜けず、故障の原因となる)
- カメラに直接照明などの光が入らないようにすること。

(住宅情報盤のモニター画面が明るくチラツいたり、被写体が暗くなることもある)

●ワイド時(取付位置140cmの場合)

上下 左右

●ズーム時(取付位置140cmの場合)

上下 左右